

令和4年度 事業報告書

特定非営利活動法人 皮膚の健康研究機構

1 事業の成果

令和4年度は、令和3年度に引き続き、皮膚の健康に貢献する為のエビデンス創出事業として各種皮膚疾患に対する治療法の検討及びその評価を行い、患者QOL（クオリティ・オブ・ライフ）及び治療に関する研究を行った。また、皮膚科領域に特化した臨床研究審査委員会や再生医療等委員会の審査業務においてその専門性を活かし、良質な研究の推進を行った。

啓発活動事業では、一般市民を対象とした「光老化」という言葉の認知と意味を深めるために、啓発資料の作成や情報媒体発信などそれに付随する活動を実施した。また、医療従事者を対象として皮膚科医の学習機会の継続、医薬品等適正使用を目的とした生涯学習プログラム「NPO（Novel Professional Outlook）スキンセミナー」をweb配信によるオンデマンドビデオプログラムの実務研修を定期的に変更した。新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の長期化で、医療従事者の制限が続く中、日常の診療や医療活動の情報共有や学習の場となり、皮膚の健康増進・患者QOLに貢献することができた。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

(事業費の総費用【227,434】千円)

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	受益対象者範囲	受益対象者人数	事業費(千円)
皮膚の健康に貢献する為のエビデンス(医学的根拠)創出事業	各種皮膚疾患に対する治療法の検討及びその評価	令和4年4月から令和5年3月	全国	10名	皮膚科医療関係者	20,000名	159,581
皮膚の健康に貢献する為の啓発活動事業	正しい皮膚科学・美容皮膚科学に関する啓発活動の企画実施	令和4年4月から令和5年3月	全国	3名	皮膚科医療関係者及び一般市民	20,000名	4,592
	正しい皮膚科学・美容皮膚科学に関するセミナー・講演会、実務研修等の企画実施	令和4年4月から令和5年3月	全国	2名	皮膚科医療関係者及び医学部生	20,000名	1,835
皮膚の健康に貢献する為の実務研修事業	皮膚科領域の医薬品等適正使用推進、診療・服薬指導等による実務研修の企画実施	令和4年4月から令和5年3月	Web	14名	皮膚科医療関係者及び一般市民	20,000名	21,630

皮膚の健康に貢献する研究開発のコンサルタント事業	皮膚に関する学術誌・書籍等への学術指導、皮膚疾患製品開発に関する助言指導	令和4年4月から令和5年3月	全国	10名	皮膚科関連機関関係者	50名	33,004
治験・臨床研究及び医学系研究の倫理的、科学的妥当性を検討する倫理審査委員会に関する事業	皮膚科領域に特化した調査・研究に関する審査意見業務	令和4年4月から令和5年3月	法人事務所	2名	皮膚科医療関係者	50名	6,792